

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		心身障害児福祉手当支給事業費（心身障害児福祉手当支給事業）										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	事業番号	15	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	障害福祉			課			庶務			係	課長名	大法 努
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3			
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書 (ページ)	55			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	20歳未満の身体障害者手帳4級以上または愛の手帳4度以上の所持者 →				対象となる障害児数(20歳未満の身体障害児・知的障害児)							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
障害のため必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当を支給することにより、障害者の生活を支援し、福祉の向上を図る。 →				手当受給者数								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
20歳未満の身体障害者手帳4級以上または愛の手帳4度以上の所持者身体障害者手帳4級以上または愛の手帳4度以上を所持し、保護者が市内在住である場合、心身障害児福祉手当(月額：6,100円)を支給した。 →				手当支給額								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	291	278	292		/				
	成果指標	②の数値	人	229	229	245						
	目 標	②の目標値	人	260	250	250						
		目標値設定の考え方 手当受給者数の推移										
活動指標	③の数値	円	17,391,100	16,793,300	16,122,300							
3 経費	事業費(実績)		円	17,391,100	16,793,300	16,122,300		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	17,391,100	16,793,300	16,122,300						
		特定財源(国・都・他)	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	1,662,000	838,000	825,000						
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	19,053,100	17,631,300	16,947,300							
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和44 年度										
	(2) 環境の変化	・昭和44年4月 心身障害児を監護し、または養育している者に手当(月額：6,100円)を支給することにより、障害児の福祉の増進に寄与する。 ・近年、とりわけ軽度の知的障害児が増加傾向にある。										

事業名称	心身障害児福祉手当支給事業費（心身障害児福祉手当支給事業）			
担当部署・課長名	障害福祉	課	庶務	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：                      ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（                      ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 障害のある児童の増加に伴い、事業費が増加している。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 障害のある児童の増加に伴い、事業費が増加している。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 障害者福祉の推進			
	<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある    事業名（                      ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 年間手当支給額（実績）は徐々に低下している。しかしながら、手当受給者数の変動は手帳取得や転入・転出によって影響されるため、予測が困難である。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	20歳到達により心身障害児福祉手当から心身障害者福祉手当の移行に必要な申請の案内また、窓口での案内漏れの防止を引き続き徹底する必要がある。			